

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	01	164380	森林資源活用事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		4,084	3,760		-324
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,170	1,157		-13
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,914	2,603		-311

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯
木材の有効活用と特用林産物の生産振興を目的に開始した。

事業概要
<p>【R2 R3繰越】特用林産施設体制整備事業 0円 生産用ほだ木の購入に対する補助</p> <p>【R1 R2繰越】特用林産施設体制整備事業 1,157千円 生産用ほだ木の購入に対する補助</p> <p>安全なきのこ原木の導入支援 658千円 安全なきのこ原木の導入に対する補助</p> <p>木質資源活用支援事業 1,946千円 自伐型林業や松くい虫被害木活用に対する支援</p> <p>きのこ原木等処理事業 0円 生産再開にむけた落葉層の除去を実施に対する支援</p>

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
森林資源活用事業 3,760,300円

【R2 R3繰越】特用林産施設体制整備事業（国庫） 0円（949千円をR3へ繰越）
特用林産物の経営基盤を強化し、被災地の復興を図る。
・取組内容 生産資材（きのこ原木）の導入
・実施主体 花巻農業協同組合、花巻市森林組合
・事業費見込1,897,280円（@176円/本×10,780本）、補助額見込948,640円（補助率1/2）

【R1 R2繰越】特用林産施設体制整備事業（国庫） 1,157,200円
特用林産物の経営基盤を強化し、被災地の復興を図る。
・取組内容 生産資材（きのこ原木）の導入
・実施主体 花巻農業協同組合、花巻市森林組合
・事業費 2,314,400円（@176円/本×13,150本）
・補助額 1,157,200円（補助率1/2）

安全なきのこ原木の導入支援 657,500円
原木しいたけ生産の振興のため、安全なきのこ原木の導入に支援する
農協等の団体が生産者に対する支援事業を行う場合に補助額の1/2を市が補助する
補助単価100円/本×13,150本×1/2=657,500円

木質資源活用支援事業 1,945,600円
（1）素材搬入場所運営 1,089,000円
搬入場所において、受け入れ作業と木材管理を行う
（2）木質資源活用支援事業補助金 756,600円
運搬経費補助 木材搬入場所からチップ工場までの運搬経費に対する補助
378.3トン×2,000円/t = 756,600円
被害木加算 買取単価が低い松くい虫被害木への加算
実績なし
（3）森林作業道開設事業補助金 100,000円
森林施業を行うために必要な作業道の開設に対する補助
100,000×1件 = 100,000円

きのこ原木等処理事業 0円
被災後、生産再開を断念もしくは規模縮小していた生産者が再度生産を再開する場合に、
ほだ場環境改善のために落葉層の除去を実施する
実績なし

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	01	164380	森林資源活用事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164410	森林整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		44,941	22,256		-22,685
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	27,219	6,199		-21,020
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	17,722	16,057		-1,665

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
地元産木材の建設物や燃料への利用を進める。

事業開始の背景・経緯
森林の多面的機能の増進には不可欠な作業であるため

事業概要
森林整備 16,603千円 市有林の整備と管理 森林整備活動支援 1,482千円 森林経営計画作成や施業集約化に対する支援 民有林保全対策 3,637千円 森林整備事業(補助事業)のかさ上げ補助 市行造林交付金 534千円 市行造林伐採による収益の分収

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池正彦
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
森林整備事業 22,255,599円 1. 森林整備 16,603,178円 (1) 市有林等造林業務 8,682,899円 再造林 東和地区 3.84ha 事業費 2,778,600円 下刈 花巻、石鳥谷地区 10.80ha 事業費 2,257,200円 除伐 東和地区 2.30ha 事業費 542,149円 保育間伐 花巻、東和地区 5.16ha 事業費 1,696,950円 補植 石鳥谷地区 1.82ha 1,408,000円 (間伐・作業道 花巻、石鳥谷地区 29.15ha、4,639m 事業費 22,280,500円 【繰越】) (2) 市有林調査業務 580,530円 造林業務実施に向けて必要な測量や現地調査を行う。 (3) 胡四王山周辺森林整備業務委託 3,632,200円 胡四王山周辺は市の重要な観光地であり、その観光資源である森林を守るため下刈、除伐、病害虫の駆除等を行い森林保全整備を行う。 業務委託 3,632,200円 (4) 抵抗性アカマツの補植 28,875円 重要な赤松林の保全のため、松くい虫被害に抵抗性があるアカマツの補植を行う。 アカマツ(コンテナ苗) 150本 28,875円 (5) 市有林の維持管理及び計画的施業 3,678,674円 市有林及び作業道の補修 業務委託 3,347,000円 施業管理及び研修 研修旅費 31,110円 公用車リース 300,564円 2. 森林整備活動支援 1,481,640円 (1) 森林経営計画作成促進 1,481,640円 ・取組内容 計画作成に必要な森林情報収集、合意形成活動、森林調査、境界の確認等 ・交付額 経営委託(間伐) 38,000円/ha × 12.16ha = 462,080円 共同計画 8,000円/ha × 90.17ha = 721,360円 森林境界案作成 35,000円/ha × 8.52ha = 298,200円 3. 民有林保全対策 3,636,602円 森林整備の適切な実行を促進するため、森林整備事業で実施した再造林・下刈・除間伐等の経費に対して7~22%の高上げ補助を行う。 ・再造林、下刈、作業道、特殊地帯(補助率22%) 3,636,602円 ・除間伐、枝打ち(補助率7%) 0円 4. 市行造林交付金 534,179円

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164410	森林整備事業費

事業手法の詳細 2

事業手法の詳細 3

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164470	森林経営支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		23,193	49,286		26,093
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	23,193	49,286		26,093

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

<p>部重点施策における目標</p> <p>私有林の森林経営を促進させるため、意欲ある林業事業者の育成と森林経営計画の作成を支援する。小規模所有者については市有林を中核に、共同による森林経営計画を推進し、森林の経営管理の高度化を図る。</p>

<p>事業開始の背景・経緯</p> <p>森林経営計画の策定状況 民有林32,225haのうち5,290ha(策定率16.4%) 県全体の策定率24% 中山間の高齢化、不在村化に対応し、経営の受委託の促進が必要。森林経営管理法が平成30年5月に成立し、平成31年4月1日施行。</p>
--

<p>事業概要</p> <p>スマート林業の構築 28,945千円 森林の航空レーザ計測及び解析、林地台帳の運用、ICT機器導入支援 森林経営の推進 9,070千円 森林経営計画作成支援、路網・森林整備支援 人材の確保育成 560千円 林業施業プランナー育成支援、林業労働者の技術向上支援 里山整備の促進 2,861千円 里山の整備を行う団体の支援 森林の保全 0円 防災緊急対策 森林環境譲与税基金積立金 7,850千円</p>

担当部署	13200000 農林部 農村林務	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

<p>事業手法の詳細1</p> <p>1 スマート林業の構築(林地台帳と併せた森林情報の一元管理) 28,945千円 委託料 28,258千円、補助金 687千円 (1) 森林資源情報の把握・解析 26,714千円 【概要】市内の森林・林業分野における航空レーザ計測及び解析等業務の委託 【対象地】大迫地区の一部(計測:10,000ha、解析:6,500ha) (2) 林地台帳の運用 1,544千円 【概要】林地台帳のデータ等更新業務の委託 (3) ICT機器等導入支援 687千円 【概要】地理空間情報やICT等の実践的な取り組みに必要な機器導入支援(補助率1/2)</p> <p>2 森林経営の推進(集約化と森林整備の推進) 9,070千円 需用費 372千円、委託料 7,933千円、備品購入費 765千円 (1) 森林経営の推進と集約化の促進 3,192千円 【概要】森林経営を進めるための意向調査・個別相談及び森林経営計画作成支援 【内容】森林所有者の意向調査・説明 1,963千円 森林経営計画作成支援 1,229千円 ・市有林と隣接した森林にかかる共同計画の策定(委託料8,000・30,000円/ha) (2) 路網整備及び森林整備支援 5,878千円 【概要】森林の集約化に必要な路網整備。 【内容】市有林との共同計画区域での作業道整備、既設林道の一部改修、既設作業道の維持管理</p> <p>3 人材の確保育成 560千円 報償費 0円、需用費 100千円、委託料 454千円、補助金 6千円 (1) 森林施業プランナーの育成支援 6千円 【概要】森林経営計画を進めるための森林施業プランナー育成補助 【補助金】対象経費の1/2(研修・受験費用、旅費、テキスト代等) (2) 林業労働者の技術向上等の支援 554千円 【概要】林業労働者の技術向上や人材確保に必要な事業に支援 【内容】スマート林業セミナー、高校生等を対象とした現場見学などの開催 技術向上研修等への参加支援</p> <p>4 里山整備の促進 2,861千円 補助金 2,861千円 里山整備等活動支援事業補助金 2,861千円 【概要】里山整備等への取り組みに対する補助 【交付先】自治会等の地域住民による団体またはNPO法人等の保全活動団体(3名以上) 【補助金】補助 森林施業技術の技術指導等研修 2回×(@56千円/回)=112千円 補助 森林保全作業の実践活動 790a×(@16千円/10a)=1,264千円 補助 里山の間伐 530a×(@27千円/10a)=1,431千円 補助 運搬経費 18t×(@3千円/t)=54千円 (間伐等施行箇所から小口買取ステーションまでの運賃)</p>
--

令和2年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164470	森林経営支援事業費

事業手法の詳細 2					
5	森林の保全	0円			
	委託料	0円			
	山地災害等防災応急対策	0円			
	【概要】	山地災害の防災、応急対策			
	【内容】	山地災害の防災対策、被災時の応急対策業務 未執行のため基金に積み立て			
6	木材活用の推進	7,850千円			
	積立金	7,850千円			
	森林環境譲与税基金積立	7,850千円			
	【概要】	市内森林資源の循環利用と地域林業の推進			
	【内容】	植える、育てる、伐る、使うという循環利用に充てるため積み立て			

事業手法の詳細 3					
-----------	--	--	--	--	--